

事業者向け 放課後等デイサービス評価表集計結果

実施期間	R4.9.14～R3.9.30
対象者	8
回答数	8
回収率	100%

※空欄は「どちらともいえない」で集計

		チェック項目	はい		どちらともいえない		いいえ		改善目標、工夫している点など
			回数	割合	回数	割合	回数	割合	
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	88%	0	0%	1	13%	・広い空間を人数や用途によりバージョンにてレイアウトや広さを変え、空間の使い分けをしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	13%	5	63%	2	25%	・日中一時支援との兼務により土・日・祝を含めたシフト勤務であり、調整が難しい。確定シフト以降の変更については、他職員との調整などを行うことで偏りが出ないように職員にもお願いをしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	38%	3	38%	2	25%	・担当者中心に5S活動を推進することにより、改善が必要な場所を把握し、バリアフリー化などへの配慮等も定期的に検討している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	25%	6	75%	0	0%	・昨年より階層別の人財育成研修を行い、業務改善への取り組みに力を入れ始めている。成果が出てくるのはもう少し先。
	⑤	保護者向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	50%	4	50%	0	0%	・独自の項目を追加するなど把握に努めるようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	63%	3	38%	0	0%	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	63%	3	38%	0	0%	
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	88%	1	13%	0	0%	・コロナ禍であり、集合型の研修が外部・内部ともに難しいが、オンライン研修又は伝達研修という形で各種研修を確保している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	75%	2	25%	0	0%	・月に一度ケース会議を開催し、現状の確認、変化や成長を共有し、モニタリング及び計画作成や変更につなげている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	63%	3	38%	0	0%	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	88%	1	13%	0	0%	・2チームに分け、それぞれのチームのプログラム案を合わせる形で立案を行っている。時々チームメンバーの意思疎通が上手くできない時もあり、改善が必要。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	38%	5	63%	0	0%	・常に新しいものを考え、固定化しないように配慮をしているが、利用者・家族のニーズを受け止める仕組みを作るなど工夫は必要。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	88%	1	13%	0	0%	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	88%	1	13%	0	0%	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	100%	0	0%	0	0%	・支援前に昼食を実施し、利用者人数・役割分担・活動など支援内容・引継ぎ事項など確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	0	0%	6	75%	2	25%	・個々により業務終了時間に差が出たり、打合せの時間が十分に取れないため、申し送りノートを活用し、昼食及び会議の時に確認・共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	63%	3	38%	0	0%	・排泄やバイタル、食事等の記録はi-padを使用し記録。サービス提供時間内のその他出来事や支援については、その場で紙に記録を取り、その日の終業時までにPC入力を行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	75%	2	25%	0	0%	・月一回のケース会議内にてモニタリングを実施。目標に対する評価・達成度を話し合い、必要に応じて計画の変更を行っている。
	関係性	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	50%	4	50%	0	0%
⑳		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	63%	3	38%	0	0%	
㉑		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	88%	1	13%	0	0%	

機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	38%	3	38%	2	25%	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	38%	5	63%	0	0%	・積極的には行っていない。計画相談事業所や保護者を通して情報を入手している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	63%	3	38%	0	0%	・卒業証書のように変化や成長の過程、現状を伝えられるような記録があるとよい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	38%	5	63%	0	0%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0%	2	25%	6	75%	・コロナ禍でもあり、実施できていない。時期を見て障害の無い子供と活動する施設の利用や、イベントとして地域児童が呼べるような企画をしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	0%	8	100%	0	0%	・法人としては参画している。機会があれば事業所としても参画したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	88%	1	13%	0	0%	・サービス提供時間内の出来事や療育での様子などは日々保護者対応の職員を配置し、現場職員から集まってくる伝達事項を保護者に直接伝え、また、保護者からの情報を記録し、会議等で全体に共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	0%	4	50%	4	50%	・助言ベースでは都度行っているが、明確にペアレント・トレーニングとしては実施できていない。今後の検討課題。
	保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	75%	2	25%	0	0%
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	63%	3	38%	0	0%	
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	50%	4	50%	0	0%	・毎年開催しているが、参加率は低い。今後ペアレント・トレーニングを含め研修会など同時開催するなど活発化を促していきたい。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	63%	3	38%	0	0%	・体制は整備されているが、報告までの流れなど定期的な確認と研修、マニュアル整備などが必要。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	63%	3	38%	0	0%	・毎月事業所の会報を発行。年2回法人の広報誌を発行し情報発信を行っている。また、今年度よりインスタグラムを活用し、活動の概要や報告を発信している。
35		個人情報に十分注意しているか	8	100%	0	0%	0	0%	
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	100%	0	0%	0	0%	
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	25%	3	38%	3	38%	
非 常 時 等 の 対 応		38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	63%	3	38%	0	0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	100%	0	0%	0	0%	・毎月実施している。火災・地震・水害を想定した訓練。年一回消防署による総合避難訓練を実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	75%	2	25%	0	0%	・委員会活動を通して研修、ヒヤリハット事例収集、セルフチェックリスト実施などを行っている。今後の課題としては、各種課題に対する個別のフィードバック。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	50%	3	38%	1	13%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	50%	2	25%	2	25%	・医師は介さず保護者からの申し出により対応。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	63%	3	38%	0	0%	・ヒヤリハット事例は収集しているが、上手く周知が出来ておらず改善につながっていない部分もある。定期的に会議で事例を確認し、改善方法を話し合い、速やかに改善できるような仕組みを作る。
	集計	200	58%	119	35%	25	7%		